

津市立各中学校

津市立各中学校では、技術の授業計27時間を使って、「県産材を利用した木製品作りの設計と製作」に取り組みました。

一連の授業では、生徒たちは、県産材を使うことの意義について学習した後、県産材を使った木製品の設計と製作を行いました。

設計の時には、班に分かれて、生産者の視点で消費者のニーズを考え、ニーズに応えるにはどうしたら良いかを話し合いました。その中で、これまでの自分の欲しいものを作る時と違い、自分たちの設計を客観的に評価し、改良を加えていく過程が見られました。製作品が完成した後も、班で消費者の目線に立って、製作品の評価を行いました。

この授業を通して、生徒たちは、三重県の林業について学習したことで、防災という点だけではなく、地元の産業について興味や関心を高めることができました。特に、林業に取り組む映画「WOOD JOB (ウッジョブ)！ 神去なあなあ日常」が津市で撮影され、平成26年に公開されたこともあり、生徒たちにとってはとりわけ関心が高かったです。また、生徒たちが、製作品を客観的に評価することで、自らが製品を購入する時に「消費者として商品进行评估する力」を身に付けることができました。



三重県産の木材を使う意義を考える授業



正確な加工をめざした共同作業



製作した県産材を使った木製品

時間	27時間
場所	津市立各中学校技術室等
対象者・人数	津市内中学生約2,000人
講師	三重大学教育学部准教授 中西康雅さん
内容	①県産材を使うことの意義を考える …安全・安心な生活の視点での授業の工夫 ②県産材を使った木製品の設計 …消費者のニーズに応えるものづくりの工夫 ③県産材を使った木製品の製作 …設計図通りの正確な加工 ④製作品の評価・改良 …班での評価